

7/15  
2010年第1048号  
(毎月5、15、25日発行)

# 参院選後の政局 医療費抑制の懸念

## 協会 患者負担減・保険拡大の運動で対峙

政権交代後初の国政選挙である参院選が11日に実施され、与党が過半数を下回るなど、厳しい審判を受けた。この結果を受け、協会の伊津進弘理事長は12日、談話を発表した。

### 参院選結果を受けて

理事長 伊津 進弘



民主党は、政権交代の足がかりとなった07年の参院選で獲得した比例票から480万票減らし1845万票に後退した。一方、自民党は獲得議席こそ第1党となったが、前回の比例票から247万票減らし、1407万票に留まり、比例票で民主党を上回るには至らなかった。

私は、昨年の総選挙後の談話で、民主が財界の肝入りによる民由合併として結成されたことに触れ、「争点となった社会保障の充実という課題と、財界の利益にも配慮

しなければならぬ事情、あるいは日米同盟を基軸とした外交路線との間で矛盾を引き起こす可能性を孕んでいる」と述べた。その後の進展は、後期高齢者医療制度の廃止先送り、普天間基地問題での迷走、政治とカネの問題などが起り、首相が退陣に追い込まれ、菅首相のもとで選挙が戦われた。

10%消費税を軸にした論戦が展開される中で、消費税が導入以来、税収分が法人税減税の穴埋めに使われてきたことが明らかになり、菅首相自身も「所得税のフラット化が進みすぎている」(7月

4日NHK)と発言したり、マスコミからは「財務省がまとめた企業の利益に対する法人税と社会保障料の負担の国際比較では(中略)社会保障の手厚い欧州の一部と比べれば、まだまだ『身軽』という日本企業の財務構造も浮かび上がる」(毎日7月3日付)と指摘するなど、事実に基づく議論も出始めた。今後の税制改革の中で生かされることを望みたい。

### 2010年改定 公称2.09%と大きな隔たり 協会アンケート、基金支払額で判明

2010年歯科診療報酬改定は、技術料本体がプラス2.09%と公表されたが、その影響などを調べるため、協会は緊急アンケートを実施した。対象者は協会の開業医会員から2割(700人)を無作為抽出、調査期間は5月15日から10日間。回答率は20%(140人)だった。

協会はアンケート結果や会員の声を活用し、選挙後の新国会に診療報酬の大幅引き上げや明細書発行の義務化撤回などを求めていく。

「実感なきプラス改定 2.09%とされたプラス改定の影響を見るために「2010年4月の保険請求は、前年同月に比べて、どのように変化しましたか」

図1 2010年4月の保険請求は、前年同月に比べて、どのように変化しましたか

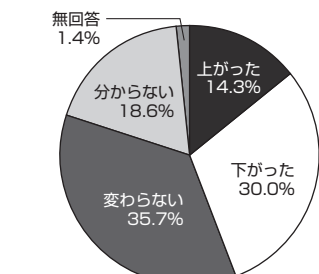


図2 情報提供文書が算定要件になっていることについて

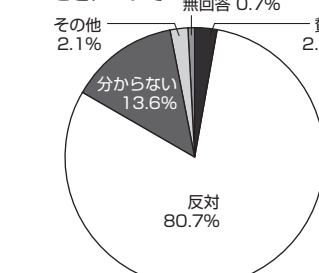
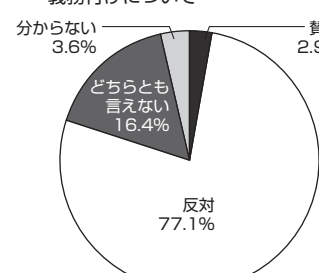


図3 すべての患者への医療費の明細書発行の義務付けについて



「実感なきプラス改定 2.09%とされたプラス改定の影響を見るために「2010年4月の保険請求は、前年同月に比べて、どのように変化しましたか」尋ねた。回答は「上がった」14.3%であったが、「下がった」30.0%にのぼり、「変わった」という声も多かった。協会では「下がった」要件になっていること

「実感なきプラス改定 2.09%とされたプラス改定の影響を見るために「2010年4月の保険請求は、前年同月に比べて、どのように変化しましたか」尋ねた。回答は「上がった」14.3%であったが、「下がった」30.0%にのぼり、「変わった」という声も多かった。協会では「下がった」要件になっていること

**サマーセミナー2010**

医療のIT化と究極の監視社会  
税と社会保障共通番号・日々レセプト・明細書発行

8月22日(日)10時~15時/M&Dホール

- 午前の部(10時~12時)  
「税と社会保障共通番号制の問題点」(仮)  
講師・坂本団弁護士(大阪弁護士会情報問題対策委員長)
- 午後の部(13時~15時)  
「明細書発行義務化について」(仮)  
講師・協会政策部講師団  
「政府税制改革について」(仮)  
講師・協会経税部講師団

※参加費無料(未入会勤務医1万円)  
※午前・午後参加の方には、お弁当を用意します

### 診療報酬改定 会員アンケート 意見欄から

協会が5月に実施した診療報酬改定会員アンケートの自由意見欄には、「実感なきプラス改定」や明細書発行義務化などに対する怒りや批判が多数寄せられた。会員の声を紹介する。(政策部)

▼歯科の診療報酬改定に対する受け止めでは、改定率プラス2.09%への批判が相次いだ。「初診料アップになったと思ったら歯管が下がった、マル模も無料では、実質大して上がった事になら

「実感なきプラス改定」については、悲痛な声が多く寄せられた。「何か処置しても、点数がないというのはおかしい。無料ですらでも言っのか。デンチャーも

「診療報酬改定など何の意味があるのか。最近、疑問に思う。情報文書を提供せよとか、明細書を発行せよと病院側に条件をつけ、患者側には

「診療報酬改定など何の意味があるのか。最近、疑問に思う。情報文書を提供せよとか、明細書を発行せよと病院側に条件をつけ、患者側には

「診療報酬改定など何の意味があるのか。最近、疑問に思う。情報文書を提供せよとか、明細書を発行せよと病院側に条件をつけ、患者側には

「診療報酬改定など何の意味があるのか。最近、疑問に思う。情報文書を提供せよとか、明細書を発行せよと病院側に条件をつけ、患者側には

「実感なきプラス改定」については、悲痛な声が多く寄せられた。「何か処置しても、点数がないというのはおかしい。無料ですらでも言っのか。デンチャーも

「診療報酬改定など何の意味があるのか。最近、疑問に思う。情報文書を提供せよとか、明細書を発行せよと病院側に条件をつけ、患者側には

「診療報酬改定など何の意味があるのか。最近、疑問に思う。情報文書を提供せよとか、明細書を発行せよと病院側に条件をつけ、患者側には

「診療報酬改定など何の意味があるのか。最近、疑問に思う。情報文書を提供せよとか、明細書を発行せよと病院側に条件をつけ、患者側には

「診療報酬改定など何の意味があるのか。最近、疑問に思う。情報文書を提供せよとか、明細書を発行せよと病院側に条件をつけ、患者側には

「診療報酬改定など何の意味があるのか。最近、疑問に思う。情報文書を提供せよとか、明細書を発行せよと病院側に条件をつけ、患者側には

紙面へのご意見や感想、投稿記事などを新聞部までお寄せください。紙面に掲載させていただいた場合は、図書カード3千円分を進呈いたします。(郵送やファクスで、協会新聞部までお寄せください)

**歯界**  
大相撲が野球賭博でやぐざが絡んでいるとか暴風状態にある。国技という特別扱いを受けて医師会や歯科医師会の理事の何十倍もの報酬を得ている相撲協会の理事達はマスコミを賑わせ御多忙な事である。昔のおっさんに依ると相撲の興業なんか元々やぐざが仕切っていたものを旨味が大きいため国が横取りしたらしい。国が競馬などいろいろな賭博を本格的に仕切りだしたのは市場原理を導入してからで、株式や商品先物取引市場など資本主義の公正な価格決定の場だから必要不可欠だが、バブルの温床でもあり、競輪など庶民の生活破壊にもなる。選挙権のない中高生が「お父ちゃん、博打はやめて」と泣いても政府や自治体は胴元をやめほしくない。